

令和 2 年度 入 試  
個別学力試験問題(前期日程)

数 学

物理・マテリアル工学科  
物 質 化 学 科  
地 球 科 学 科  
知能情報デザイン学科  
機 械・電 気 電 子 工 学 科  
建 築 デ ザ イ ン 学 科

注 意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は 2 ページ，解答用紙は 3 枚です。指示があってから確認し，  
解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 解答用紙の裏面を使ってはいけません。
5. 各問題とも必ず解答の過程を書き，結論を明示してください。小問に  
分けられているときは，小問の結論を明示してください。
6. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
7. 試験終了後，問題紙は持ち帰ってください。

1 自然数  $m, n$  に対し,  $m$  と  $n$  の最大公約数を  $\gcd(m, n)$  で表す。以下はユークリッドの互除法を用いた最大公約数の求め方である。

ユークリッドの互除法

$m, n$  を  $m > n$  をみたす自然数とし,  $r_1 = m, r_2 = n$  とおく。  $r_1$  を  $r_2$  で割った商を  $q_2$ , 余りを  $r_3$  ( $0 \leq r_3 < r_2$ ) とする。もし  $r_3 \neq 0$  ならば  $r_2$  を  $r_3$  で割った商を  $q_3$ , 余りを  $r_4$  ( $0 \leq r_4 < r_3$ ) とする。この手順を  $k-1$  回繰り返したとき, 余り  $r_{k+1}$  が 0 になれば, 次の関係式が成り立つ。

$$r_1 = m$$

$$r_2 = n$$

$$r_1 = r_2 q_2 + r_3 \quad (0 < r_3 < r_2)$$

$$r_2 = r_3 q_3 + r_4 \quad (0 < r_4 < r_3)$$

⋮

$$r_{k-2} = r_{k-1} q_{k-1} + r_k \quad (0 < r_k < r_{k-1})$$

$$r_{k-1} = r_k q_k$$

このとき,  $m$  と  $n$  の最大公約数について,

$$\gcd(m, n) = \gcd(r_1, r_2) = \gcd(r_2, r_3) = \cdots = \gcd(r_{k-1}, r_k) = r_k$$

が成り立つ。

自然数  $n$  に対し, すべての位の数字が 1 である  $n$  桁の自然数を  $a_n$  とおく。例えば,  $a_1 = 1, a_2 = 11, a_3 = 111$  であり, すべての  $n$  に対して

$$a_n = 1 + 10 + 10^2 + \cdots + 10^{n-1} = \sum_{k=0}^{n-1} 10^k$$

である。次の問いに答えよ。

- (1) ユークリッドの互除法を用いて、12345 と 54321 の最大公約数を求めよ。
- (2)  $m > n$  をみたす自然数  $m$  と  $n$  に対し、等式  $a_m - a_n = 10^n a_{m-n}$  が成り立つことを示せ。
- (3) すべての自然数  $n$  に対し、 $a_n$  と 10 は互いに素である。このことと (2) の結果を用いて、 $m > n$  をみたす自然数  $m$  と  $n$  に対し、 $\gcd(a_m, a_n) = \gcd(a_n, a_{m-n})$  が成り立つことを示せ。
- (4)  $m > n$  をみたす自然数  $m$  と  $n$  の最大公約数を  $d$  とすると、 $a_m$  と  $a_n$  の最大公約数は  $a_d$  であることを示せ。ただし、必要であれば、枠で囲まれたユークリッドの互除法の説明文で使用されている記号を用いてもよい。
- (5) (1) と (4) を用いて、 $a_{12345}$  と  $a_{54321}$  の最大公約数を求めよ。

2  $k$  を実数とし、双曲線  $x^2 - y^2 = 1$  と直線  $2x - y + k = 0$  が異なる 2 点 P, Q で交わるとする。線分 PQ の中点を R とする。次の問いに答えよ。

- (1)  $k$  の値の範囲を求めよ。
- (2) 点 R の座標を  $k$  を用いて表せ。
- (3)  $k$  が (1) で求めた範囲を動くとき、点 R の軌跡を求めよ。

3 次の問いに答えよ。

- (1) 不定積分  $\int x \sin x \, dx$  と  $\int x^2 \sin x \, dx$  を求めよ。
- (2) 関数  $f(x)$ ,  $g(x)$  が

$$f(x) = (x^2 + 2) \sin x + \frac{1}{2\pi} \int_0^\pi g(t) dt$$

$$g(x) = (-2x + \pi) \sin x + \frac{1}{2\pi} \int_0^\pi f(t) dt$$

をみたすとき、 $f(x)$ ,  $g(x)$  を求めよ。